

がんゲノム医療の流れ (他院で治療中の患者さん向け)

STEP 1

・現在の通院先の先生に「がんゲノム医療」について相談してください。

STEP 2

・通院先の先生と当院の医師が、遺伝子パネル検査の適応について相談します。
・検査ができると判断された場合、患者さんの腫瘍検体を当院に送っていただき、当院の病理医が検査に出すことができる腫瘍検体であるかを確認します。
・腫瘍検体がない場合や検査に適さない場合は、リキッドバイオプシー（血液での検査）が可能かを相談・決定します。

STEP 3

・当院の医師から通院先の先生に、腫瘍検体の確認結果をご報告します。
・検査できる検体であれば、当院を受診いただきますので、外来日の調整をさせていただきます。

外来受診

血液が必要な検査の場合

STEP 4

・受診時に、遺伝子パネル検査に関する詳細な説明をいたします。
・十分な説明を受け、理解した後、同意いただける場合に「同意書」に署名をいただきます。

STEP 5

血液が必要ない検査の場合

・「OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム」と「FoundationOne® Liquid CDx」は、採血が必要となりますので、当院の医師から採血日時をご連絡いたします。

外来受診（※採血が必要な場合）

・採血を行います。

STEP 6

STEP 7

・病理組織標本や血液検体等を検査機関に送付し、遺伝子パネル検査を実施します。

STEP 8

・検査機関から解析結果が返送された後、C-CATに解析結果を提供します。

STEP 9

・エキスパートパネル（専門家による会議）を開催し、解析結果、推奨治療法等を検討します。

外来受診

STEP 10

・当院の医師から、外来受診の連絡をいたしますので、指定日時に受診をいただきます。
・遺伝子解析の結果説明と推奨される治療法をご提案いたします。ただし、推奨される治療法が見つからない可能性もあります。

STEP 11

・当院医師からの説明を元に、通院先の先生と相談し、今後の治療法を決めていただきます。（がん遺伝子パネル検査は、現在通院中の先生の判断に必要な情報を提供するものです。そのため、検査後の治療は、現在治療を行っている主治医の判断となります）



STEP4（同意）からSTEP10（結果説明）までに約2ヶ月時間がかかります（目安です）